

教 育 民 生 常 任 委 員 会 報 告 書

議 長	事務局長	次 長	書 記
			

会 議 日 時	令和2年10月12日（月） 午前9時30分 ～ 午後3時30分			
会 議 場 所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○その他（ ）			
出 席 者 数	委員 5名のうち出席者 5名			
出 席 委 員	委 員 長	中 屋 康	委 員	岩 井 優之介
	副委員長	村 井 眞菜	委 員	酒 井 祥成
	委 員	緒 方 正綱	委 員	
説 明 者	学校教育課	課 長 西谷典生		
傍 聴 者		な し		
付 議 事 件	1. 特別養護老人ホーム窪川荘・四万十荘の運営状況について			
	2. 令和元年度歳入歳出決算について（委員会所管事業項目の審査）			
審 査 ・ 調 査	1. 町営となった特別養護老人ホーム窪川荘・四万十荘の運営状況について			
	・ 正職員、会計年度人用職員の配置状況			
	・ 施設利用者の状況と待機者状況			
	・ 施設の維持管理、コロナ禍での家族面会状況			
	・ 入所者利用に係る各種加算算定状況			
	を主な項目として説明を受け、意見交換をした。			
	委員から、入所待機者の改善措置として、民間の小規模多機能運営施設との連携が必要ではないか、包括支援センターが中に入ることが必要だ。			
	職員体制作りとして、施設長の後任養成(研修)も計画的にすべき。との意見。			
	施設側からは、職員数の不足から生じる、職員の年休付与ができない状況がある。			
	正職員数の比率が50％前後で推移しており勤務体制を確立するためには			
	70％台の確保が必要等の意見が出された。これら、意見、要望として出された項目等については、所管の高齢者支援課を通じて執行部に上げていくことにした。			
	2. 令和元年度歳入歳出決算認定について、決算特別委員会に委員会所管の事業項目について調査依頼をする事項を検討した。			
報 告 日	令和2年10月12日（月）	委員長署名	中 屋 康 	